

要件事項	<p>&lt;航空／海上業務&gt; 宛先管理機能の強化</p>
機能概要	<p>&lt;変更前仕様&gt; 「メール型宛先管理登録（UOM）」業務で設定可能な出力先はメールアドレスのみである。</p>
	<p>&lt;変更後仕様&gt; UOM業務において、帳票電文に限り、出力先にパッケージソフト（インタラクティブ／netNACCS）にかかる出力端末名の設定を可能とする。</p>

## 1. 変更内容

### (1) UOM関連業務の変更

#### (A) UOM業務の変更

##### (i) 項目名の変更

以下の項目について項目名の変更を行い、出力先にパッケージソフト（インタラクティブ／netNACCS）にかかる出力端末名（6桁）の入力を可能とする。

- ①メールアドレス → メールアドレス・出力端末名
- ②メール種別 → 出力先種別

##### (ii) 帳票電文用バスケットコード「888888」の追加

従来のバスケットコード「999999」とは別に、帳票電文用バスケットコード「888888」を追加し、出力情報コード欄への入力を可能とする。なお、帳票電文用バスケットコード「888888」は、出力先にパッケージソフト（インタラクティブ／netNACCS）を設定する場合のみ入力可能とする。

帳票出力時に宛先を取得する際の優先順位は以下の通りとなる。

- ①出力情報コード単位に設定された出力先（設定がない場合は②へ）
- ②帳票電文用バスケットコード「888888」に設定された出力先（設定がない場合は③へ）
- ③バスケットコード「999999」に設定された出力先

##### (iii) 単項目チェック、項目関連チェックの追加

- ①出力先として出力端末名が入力された場合、当該端末名にかかるシステム形態がパッケージソフト（インタラクティブ／netNACCS）であること。
- ②出力先として出力端末名が入力された場合、出力情報コードが「999999」でないこと。
- ③出力先としてメールアドレスが入力された場合、出力情報コードが「888888」でないこと。
- ④「メールアドレス・出力端末名」と「出力先種別」の組み合わせが妥当であること。

##### (iv) 出力情報コードDBチェック

出力先として出力端末名が入力された場合、入力された出力情報コードにかかる電文種別が「P：帳票電文」であること（※後述する新規追加DB項目で判断する）。

##### (v) 端末管理DBチェック

出力先に出力端末名が入力された場合は、入力された出力端末名が端末管理DBに存在すること。

##### (vi) 論理端末所有者DBチェック

出力先に出力端末名が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された出力端末名が論理端末所有者DBに存在すること。
- ②入力された出力端末名が入力者の所有する端末であること。

#### (B) 「メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）」業務の変更

出力項目名の変更に伴い、画面のラベルの修正を行う。

#### (C) 「メール型宛先管理照会（UOM01）」業務の変更

出力項目名の変更に伴い、画面のラベルの修正を行う。

### (2) 宛先取得処理の変更（オンライン業務共通処理、Web業務共通処理）

入力元がメール処理方式におけるINQ／EXZ型の宛先取得処理において、以下の条件をすべて満たす場合は、メールアドレスではなく、出力端末名を返却するように処理を追加する。

- ・「出力情報コードDB」に帳票電文である旨が設定されている
- ・「メール型宛先管理DB」に出力端末名が設定されている。

### (3) DBの変更

#### 出力情報コードDB

前述のUOM業務において、入力された出力情報コードが帳票電文であるかを確認できるよう、新規項目「電文種別」を追加し、帳票電文である場合は、「P」を設定することとする。

## 2. 変更対象業務

### <オンライン業務>

- ・「メール型宛先管理登録（UOM）」業務
- ・「メール型宛先管理登録呼出し（UOM11）」業務
- ・「メール型宛先管理登録照会（UOMO1）」業務

## 3. 特記事項

### (1) 個別項目

なし

## 4. リリース予定日／サービス開始予定日

2021年09月19日（日）保守時間帯